

# これからの まちのモト

いつの時代も、世の中には「大人」と「子ども」がいます。言うまでもなく、すべての「大人」は、かつては「子ども」でした。多くの「大人」は、学校を卒業して働き、社会の経験を積むうちに、もう「子ども」じゃないことを自覚し、常識や慣例を身につけ、いつしか「大人」の振る舞いで感動や興奮を封印したりもします。しかし、中には古い常識にとらわれずに生きる「大人」もいます。社会への不安や不満はあるけれど、それに惑わされずに前に行く。世の中に目を向けながら、人と交わり、自分の思いを込めて行く。まちを動かすのは、そんな軽やかに時代を進む「ひと」のパワーです。若い「大人」がいます。これから「大人」になる若者もいます。大きな資本や経験はないけれど、自由な発想でとにかくやってみる。まちを元気に面白くする、ムーブメントに、注目です。



赤沼さん(前列右から2人目)をはじめ運営メンバーも一人ひとりがドハマリネタをお持ちです

●ドハマリ  
ドハマリの最新情報はSNSで発信しています。  
facebook:<https://www.facebook.com/dohamari.do/>  
twitter:[https://twitter.com/dohamari\\_](https://twitter.com/dohamari_)  
HP:<https://akanuma.red/dohamari/>

東京で人気のマニアックなトークライブに憧れていた赤沼俊幸さん。「トークライブ文化でまちを盛り上げたい!」と、ついに自分で企画してしまいました。その名も「ドハマリ」。自分がいま熱中(どハマリ)していることの魅力を熱く語る、大人の自由研究的トークイベントです。開催ペースは年3〜4回。赤沼さんをはじめ9人の運営メンバーが選出したドハマリストが25分間の発表を行います。

これまでのドハマリネタをざっと挙げると「ハロプロ」「炭鉱」「ゼータ関数」「鉄道唱歌」「災害ボランティアの人」「魺物」「テレサ・テン」「素数大富豪」「奇祭」「ミュージアムグッズ」…いや、や実にマニアック。「なぜそれにハマる?」とお思いでしょうか、観覧者はドハマリストの異常に詳しい解説にいつしか引き込まれ、もつと知りたくなってしまふのです。イベント後の懇親会でもドハマリトークはエンドレス。「実は私、〇〇に夢中…」とつぶやいた観覧者が次回ドハマリストに決定すること。一昔前は同じ趣味の人が集まる「同好会」が主流だったけれど、異なる趣味の人が集まるからこそ未知への扉が開かれたり、学校や会社では会えない人と出会えたり、今までにないつながりが生まれています。さて、あなたのドハマリは何ですか?

## 〇〇愛を語って広がる!

## ドハマリの輪